

令和8年度 研究・調査企画会議 事後評価部会（第2回）

議事概要

1 日時：令和8年8月20日（木） 14：11～16：54

2 場所：食品安全委員会第二会議室（Web 会議システムを利用）

3 出席者（7名）五十音順

荒川 宜親 藤田医科大学医学部客員教授

小澤 正吾 岩手医科大学 評議員

鬼武 一夫 日本生活協同組合連合会品質保証本部総合品質保証担当

松永 民秀 名古屋市立大学大学院薬学研究科特任教授

◎眞鍋 昇 東京大学名誉教授

宮崎 茂 一般財団法人生物科学安全研究所シニアアドバイザー

横田恵理子 慶應義塾大学薬学部共同研究員

（◎：座長）

その他、食品安全委員会から祖父江委員長ほか3名が、事務局から尾崎事務局長ほか6名が出席した。

4 議事概要

（1）令和7年度終了研究課題の事後評価（ヒアリング審査）

○ 令和7年度に終了した研究課題（9課題）のうち4課題の成果について事後評価を行うため、各課題の主任研究者に対しヒアリング審査を実施した。

○ 各委員の意見を取りまとめ、各課題の評価所見(案)を作成した上で、次回の事後評価部会で当該案の審議を行うこととなった。

（2）食品健康影響評価技術研究及び食品安全確保総合調査の令和7年度追跡評価結果について

○ 令和7年10月27日に開催された研究・調査企画会議プログラム評価部会における追跡評価の結果について、事務局より報告がなされた。

（3）その他

○ 今後の事後評価部会の開催スケジュールについて説明した。

<事後評価対象課題>

- ・人工知能技術を用いた農薬評価書活用システムのフィージビリティスタディ
- ・ナノマテリアルの粒径閾値の設定に向けた経口毒性解析に関する研究
- ・我が国の特定原材料に対する網羅的なアレルギー症状誘発確率の推計とばく露評価に基づいた定量的リスク評価に関する研究

- ・ 有機フッ素化合物類 PFASs の食事を通じたばく露実態およびばく露経路に関する研究

－以上－

(注：本部会は個別具体的な研究者や研究課題名及び研究の内容に言及して議論が行われることから、非公開で行った。このため、本会議の議事概要についても、それらが特定されない形で公表するものである。)